

2020/10/8-3

(うとQ世話 37年間の会社生活を振り返って オマケ篇)

「転ばぬ先の杖」

で、もう一つ思った事がありました。

いや、会社生活37年の後、起業して7年目となる今、どちらかというところの方が、強く感じた事かもしれません。

それは

「転ばぬ先の杖」の心構えから、

常時、不確定要素を念頭に置き、可能な限り予測される不測の事態に対して、その打開策を常に用意するのが「転ばぬ先の杖」の本当の意味だといくら言っても、所詮、人知の及ぶ範囲は限られている。万事を尽くしたつもりでも、当たるも八卦、当たらぬも八卦に結果は等しい。

であるなら、外れるのは当然至極の事として、外れた後に

「何度転ぶも起き上がり小法師（こぼし）」

の方が、より妥当且つ先にも繋がるであろう、

というのが一番強く抱いた感想だったかも。

オマケ的ではありますが、キャラメルよりもオマケの方が本命の場合もあります。

所謂、子供にとっての「●●●のオマケ」みたいな。